

公 示

準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の判断結果について

制 定	平成27年	1月27日	九運公第42号
一部改正	平成27年	8月19日	九運公第22号
一部改正	平成28年	8月1日	九運公第24号
一部改正	平成28年10月	1日	九運公第40号
一部改正	平成29年	8月22日	九運公第33号
一部改正	平成30年	8月24日	九運公第43号
一部改正	平成30年10月	1日	九運公第51号
一部改正	平成31年	4月1日	九運公第5号
一部改正	令和元年	8月23日	九運公第33号
一部改正	令和2年	3月31日	九運公第121号
一部改正	令和2年	8月28日	九運公第30号
一部改正	令和2年10月	1日	九運公第41号

平成26年1月24日付け公示「準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化の推進のために監督上必要となる措置等の実施について」に基づき、一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の判断結果を下記のとおり公示する。

なお、需給状況の判断結果の算定基礎数値は、別紙のとおりである。

平成27年1月27日

九州運輸局長 竹田 浩三

記

令和2年度における需給状況の判断結果

都道府県	営業区域名 (交通圏)	必要車両数 (両)	令和元年度末 車両数 (両)	増加可能車両数 (両)
福岡県	久留米市	365	532	▲ 167
	大牟田市	115	162	▲ 47
	筑豊交通圏	235	409	▲ 174
佐賀県	佐賀市	315	403	▲ 88
	唐津市	126	184	▲ 58
長崎県	佐世保市	345	497	▲ 152
	諫早市	119	166	▲ 47
宮崎県	宮崎交通圏	738	1,008	▲270
	延岡市	229	268	▲ 39
	都城交通圏	157	222	▲ 65
熊本県	熊本交通圏	1,291	1,812	▲521
	八代交通圏	153	219	▲ 66
大分県	大分市	520	708	▲ 188
	別府市	214	386	▲ 172
鹿児島県	鹿児島市	1,112	1,671	▲ 559
	鹿児島空港交通圏	207	319	▲ 112

※上記「令和元年度末車両数」は、特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法（以下「タクシー

特措法」という。)第2条第9項に定める事業用自動車(一般乗用旅客自動車運送事業(1人1車制個人タクシーに限る。以下「個人タクシー」という。)を除く。)の数である。

※その他ハイヤー(道路運送法施行規則第4条第8項第3号の規定に基づき国土交通大臣が定める区分を定める告示(平成26年国土交通省告示第59号)第2号に規定するハイヤーをいう。以下同じ。)がある営業区域にあつては、算定した一般タクシー(タクシー特措法第2条第9項に定める事業用自動車からその他ハイヤー及び個人タクシーを除いたもの。以下同じ。)の必要車両数と平成26年1月27日現在の一般タクシーの車両数の乖離率を用いてその他ハイヤーの必要車両数を算定し、これを一般タクシーの必要車両数に加えて算定したものである。

附 則

本公示は、令和2年度の準特定地域における法人タクシー(一般乗用旅客自動車運送事業(1人1車制個人タクシーを除く。))の新規許可申請、条件解除の承認申請、営業区域の設定に係る事業計画変更認可申請、増車に係る事業計画変更認可申請、休車の解除に係る事業計画変更認可申請及び個人タクシーの新規許可申請について適用する。

1. 福岡県

(1)久留米市

輸送需要量 $A=B \times C$	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
6,946,392	7,198,670	0.964955

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
365	6,946,392	18,232,049	0.43	136,261	0.90

(2)大牟田市

輸送需要量 $A=B \times C$	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
2,460,462	2,563,105	0.959954

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
115	2,460,462	7,212,986	0.42	46,869	0.90

(3)筑豊交通圏

輸送需要量 $A=B \times C$	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
4,834,958	5,066,341	0.954329

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
235	4,834,958	14,027,999	0.42	94,053	0.90

2. 佐賀県

(1)佐賀市

輸送需要量 $A=B \times C$	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
5,312,628	5,424,657	0.979348

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
315	5,312,628	14,459,815	0.38	108,180	0.90

(2)唐津市

輸送需要量 A=B×C	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
2,627,317	2,661,966	0.986984

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
126	2,627,317	6,497,567	0.45	46,495	0.90

3. 長崎県

(1)佐世保市

輸送需要量 A=B×C	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
7,403,410	7,661,172	0.966355

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
345	7,403,410	23,636,573	0.34	123,693	0.90

(2)諫早市

輸送需要量 A=B×C	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
2,712,371	2,784,172	0.974211

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
119	2,712,371	8,592,333	0.36	44,977	0.90

4. 宮崎県

(1)宮崎交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
12,034,543	12,476,516	0.964576

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
738	12,034,543	35,362,511	0.37	264,939	0.90

(2)延岡市

輸送需要量 A=B×C	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
3,515,165	3,604,288	0.975273

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
229	3,515,165	10,242,156	0.37	80,581	0.90

(3)都城交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
2,935,063	3,044,271	0.964127

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
157	2,935,063	8,010,893	0.41	57,702	0.90

5. 熊本県

(1)熊本交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
25,500,920	26,207,826	0.973027

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
1,291	25,500,920	74,025,167	0.38	464,152	0.90

(2)八代交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
2,741,048	2,875,999	0.953077

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
153	2,741,048	8,225,774	0.39	58,922	0.90

6. 大分県
(1)大分市

輸送需要量 A=B×C	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
12,078,751	12,528,334	0.964115

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
520	12,078,751	33,529,592	0.43	203,831	0.90

(2)別府市

輸送需要量 A=B×C	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
4,188,559	4,372,458	0.957942

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
214	4,188,559	11,970,360	0.40	80,780	0.90

7. 鹿児島県
(1)鹿児島市

輸送需要量 A=B×C	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
18,371,059	19,033,106	0.965216

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
1,112	18,371,059	54,679,130	0.36	396,699	0.90

(2)鹿児島空港交通圏

輸送需要量 A=B×C	令和元年度の 総実車キロ B	直近5年間分の 対前年度比率の平均値 C
3,336,934	3,463,171	0.963549

必要車両数 $A \div (D \times E \div F) \div 366 \div G$	輸送需要量 A	総走行キロ D	実車率 E	延べ実働車両数 F	実働率 G
207	3,336,934	8,890,892	0.41	74,192	0.90